NIE実践報告

１．タイトル：☆総合学科におけるNIE実践の取り組み

２．学校名

北海道石狩翔陽高等学校

３．実践者名（代表者名）

鈴木　広基

４．学年

第1学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

産業社会と人間　320人

６．単元（本時の学習課題）名

産業社会と人間

７．目標（狙い）

総合学科特有の科目であり、「自分を知る」「世の中(職業)を知る」「(選択)科目の内容を知る」ことを目標に1年をかけて学ぶ。「新聞スクラップ」はその一環である。

８．評価の視点

3月に行われる「ライフプラン発表」に向けて、職業観・勤労観、自ら学ぶ姿勢の育成ができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

2単位「産業社会と人間」　合計57時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)全体(1年次)オリエンテーションを行い1年間の学習内容や評価法を知る。(1時間)
(2)グループ学習を通して、働くことの意義を幅広く考える。(1時間)
(3)進路ガイダンス(1時間)
(4)新聞活用ガイダンス(1時間)
(5)選択授業見学・分野別進路ガイダンス・履修計画作成・個人面談
(6)「ライフプラン」発表
(留意点)
・新聞スクラップ学習は「産業社会と人間」の教科の中で1年を通して行われている。
・年3回の提出があり、「新聞スクラップ提出シート」に沿って記入する。
・2年次以降の科目選択や進路指導、3年次の課題研究につながる授業であることを考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞を日常的に読む生徒が増加し、時事問題と生徒自身の課題を結びつけて考えるようになった。

12．成果と課題

3月16日に行われた「ライフプラン発表会」では昨年度より進路実現のためには社会を直視し、そのためには何を課題とし解決すべきかがより明確なかたちとなって発表されていた。また、情報収集方法がインターネットだけではなく新聞や図書館など幅広くなっている。
この取り組みが2年次の「総合学習」や3年次の「課題研究」につながるための具体的な方策を検討中である。